



International
Labour
Organization

児童労働について考えよう

授業の目標

児童労働をなくすにはどうしたらよいか考えよう

授業の流れ

1. 児童労働って？
2. 世界のどこで起きているの？
3. なぜ児童労働はいけないの？
4. なぜ日本に関係があるの？
5. 児童労働をなくすためには
6. 日本のみんなにできること



▶ 児童労働って？

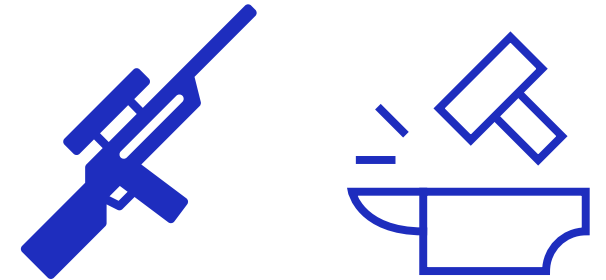
- 子どもたちが学校にも行けず遊ぶ時間もないほど働くこと
- 児童労働をなくすことは子どもの権利や健康を守るために重要

児童労働って？

- たくさんの国でつくる国際連合（国連）では大事な目標を決めて、達成しようとがんばっています
- この目標を SDGs と呼んでいます
- 児童労働をなくすこともその1つです

次の3つは児童労働でしょうか？

- ① 小学生が家でご飯の準備を手伝う
- ② 中学生が自動車工場働く
- ③ 高校生が戦場で兵士として使われる



次の3つは児童労働でしょうか？

- ① 小学生が家でご飯の準備を手伝う
- ② 中学生が自動車工場で働く
- ③ 高校生が戦場で兵士として使われる

児童労働は②と③です

(適度な) おうちのお手伝いは児童労働ではありません

▶ 児童労働をするモシ君とアマラさん

モシ君とアマラさんは児童労働をしています。2人についての文章を読んで、
おうちのお手伝いと児童労働がどう違うか考えてみましょう。

児童労働をするモシ君

モシ君は12歳です。

モシ君の国では12歳は義務教育を受ける年齢です。

ある日、モシ君のお母さんが病気になってしまいました。

モシ君は朝早くから夜遅くまで、お母さんに代わって毎日畑で働くようになりました。学校には通えず、いつ戻れるかもわかりません。

児童労働をするアマラさん

アマラさんは16歳です。

カカオ農園で働く季節労働者の両親と暮らしています。

両親の手伝いで、大きなナタを使ってカカオの実を収穫したり、実が入った重い袋を運んだりしています。

近くで農薬を散布されると、目や肌がチクチクします。

児童労働をするモシ君

モシ君は12歳です。

モシ君の国では12歳は義務教育を受ける年齢です。

ある日、モシ君のお母さんが病気になってしまいました。

モシ君は朝早くから夜遅くまで、お母さんに代わって毎日働くようになりました。学校には通えず、いつ戻れるかもわかりません。



ILOの条約（決まり）では、義務教育を受けるはずの年齢の子どもが学校に通えないほど働くことは禁止されています

児童労働をするアマラさん

アマラさんは16歳です。

カカオ農園で働く季節労働者の両親と暮らしています。

両親の手伝いで、大きなナタを使ってカカオの実を収穫したり、実が入った重い袋を運んだりしています。

近くで農薬を散布されると、目や肌がチクチクします。

 **ILOの条約（決まり）では、18歳未満の子どもに、病気やケガをするような危ない作業をさせることは禁止されています**

児童労働をする子どもの数

- 児童労働をする子どもは世界で 1 億 6 千万人です。世界中の子どもの10人に 1 人の割合です
- 日本の総人口（およそ 1 億2500万人）よりも多くの子どもが働いていることになります

児童労働をする子どもの数

- 2016年から2020年までの4年間で児童労働をする子どもの数は増えました
- 新型コロナウイルス感染症、紛争、食料危機の影響で、児童労働はさらに増えるおそれがあります

授業の流れ

1. 児童労働って？
- ▶ 2. 世界のどこで起きているの？
3. なぜ児童労働はいけないの？
4. なぜ日本に関係があるの？
5. 児童労働をなくすためには
6. 日本のみんなにできること

世界のどこで起きているの？

- 児童労働は農業部門に多くみられます（地域によって違います）
- 世界の児童労働の70%は農林水産業で起こっています
- 児童労働をする子どもの3分の2以上が、家族と一緒に働いています。家族で働くケースには、農業や商売、家の中で商品をつくる「内職」などがあります

授業の流れ

1. 児童労働って？
2. 世界のどこで起きているの？
3. なぜ児童労働はいけないの？
4. なぜ日本に関係があるの？
5. 児童労働をなくすためには
6. 日本のみんなにできること

なぜ児童労働はいけないの？

児童労働の原因は何だと思いますか？



なぜ児童労働はいけないの？

児童労働の原因は何だと思いますか？

- 貧困
- 教育の機会がないこと
- 児童労働への無理解・無関心
- 差別・格差
- 武力紛争
- 自然災害
- 気候変動

 大人が「ディーセント・ワーク」に就けていないことが関係します

▶ ディーセント・ワークって何？

働きがいのある人間らしい仕事のこと

たとえば…

- 職場でみんな平等で大切に扱われること
- 安全で健康的なところで働くこと
- 働く人や家族の生活が安定するだけの十分なお給料が支払われること
- 医療保険や失業保険など「もしも困った時」のための制度が整っていること

▶ ディーセント・ワークと児童労働のつながり

生活するのに十分なお給料が
支払われないと…

- 大人の収入だけでは生活が安定しない
- 生活するために子どもも働くことになってしまいます

安全で健康的な職場で働くこと
ができないと…

- 大人が病気やケガをしてしまう
- 大人の代わりに子どもも働くことになってしまいます



大人がディセント・ワークに就くことが重要です

なぜ児童労働はいけないの？

- 子どもの健康的な成長に悪い影響があるから
- 子どもの権利（教育を受ける権利、健康で安全に育つ権利など）を奪うから
- 大人がディーセント・ワークに就けなくなるから（子どもが安い労働力として使われると大人の賃金にも影響するから）

授業の流れ

1. 児童労働って？
2. 世界のどこで起きているの？
3. なぜ児童労働はいけないの？
4. なぜ日本に関係があるの？
5. 児童労働をなくすためには
6. 日本のみんなにできること

なぜ日本に関係があるの？

- みんながスーパーやお店で買うものの中には、児童労働によってつくられたものが入っていることがあります
- たとえば、
 - チョコレート
 - コットン
 - スマートフォンに使われるレアメタルなどです



なぜ日本に関係があるの？

- 児童労働は日本にもあります
- たとえば、高校生の深夜のアルバイト、危険で有害なアルバイト、ヤングケアラー、いわゆる「JK ビジネス」、などです
- 18歳未満は子どもとして守られる権利があります

授業の流れ

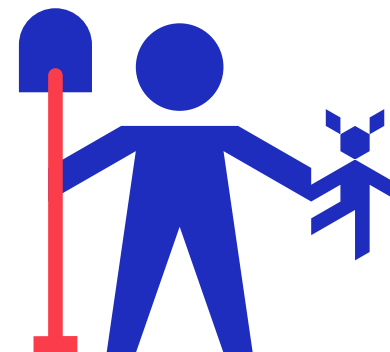
1. 児童労働って？
2. 世界のどこで起きているの？
3. なぜ児童労働はいけないの？
4. なぜ日本に関係があるの？
5. 児童労働をなくすためには
6. 日本のみんなにできること

▶ 児童労働をなくすためには

- 法令で禁止する、違反者（子どもを働かせている人）を罰する
- 無償で質の良い義務教育をすべての子どもに保証する
- 大人がディーセント・ワークに就いて、子どもを働かせなくても安定した暮らしができるようにする
- 病気やケガ、失業などのときに子どもを働かせなくても安定して暮らせるように公的な援助や保険（社会的保護）を整備する

児童労働をなくすためには

- 環境を守り、災害や紛争を防ぐことで児童労働の原因を減らす
- 子どもの権利を守る



授業の流れ

1. 児童労働って？
2. 世界のどこで起きているの？
3. なぜ児童労働はいけないの？
4. なぜ日本に関係があるの？
5. 児童労働をなくすためには
6. 日本のみんなにできること

日本のみんなにできること

- 知る、調べる
 - 。図書館やインターネットで児童労働について調べる
 - 。「児童労働すごろく」で遊んでみる
- 周りの人と話してみる
 - 。おうちの人や友達と児童労働について話してみる
 - 。もしも周りに学校を休みがちな子がいたら気にかけてみる

日本のみんなにできること

- 発信する、具体的に行動する
 - チョコレートやコットンTシャツなどを買うとき、どこで誰がつくったものか気にしてみる
 - 「児童労働でつくられたものではありません」という商品を買う
 - 毎年6月12日の児童労働撤廃世界デーなどに行われるイベントに参加してみる
 - 児童労働をテーマに、絵や文、歌で表現してみる

授業のまとめ

- 世界では、日本の総人口（およそ1億2500万人）よりも多い、1億6千万人の子どもが働いています
- 児童労働は、子どもの権利を奪い、体やこころの発達・成長に悪い影響を与えます
- 条約や法律（決まり）をつくったり、制度を整えたりして児童労働をなくそうと世界中の人々ががんばっています
- みんなで児童労働について考えたり、まわりの人と話すことで児童労働をなくすお手伝いができます